

# 第1回 定例会

## 代表質問 行財政改革大綱などについて質す

平成十八年第一回定例会は、二月二十七日から三月二十三日まで二十五日間の会期で開かれました。

この定例会には、知事からは、平成十八年度一般会計予算や茨城県副知事条例など、また、議員からは、茨城県議会委員会条例の一部を改正する条例などの議案が提出されました。

代表質問では、第四次行財政改革大綱の策

定方針、農協の営農指導体制の強化、二〇〇七年問題の取り組みなどについて、また、一報質問では、真壁地域での歴史館の整備、T X沿線のまちづくり、県北地域活性化に向けた具体的な指針づくり、がん治療情報の開示、戦略的な県政情報の発信、県立高等学校の跡地利用、小規模作業所に対する支援、県税のコンビニ納付、県北地域の振興などについて

質問がありました。(二―五面に掲載)

常任委員会では、付託議案及び地方自治法改正後の副知事規定への対応、商店街活性化や観光振興、日立医療圏の診療機能、農業改革の取り組み、木造住宅耐震診断士の必要数、不審者情報のメール配信などについて議論が行われました。(六・七面に掲載)

予算決算特別委員会では、付託案件及び国道二四五号湊大橋の架け替え工事の進捗、税に関する県民意見の聴取、少子化対策などに

ついて質疑が行われました。(八・九面に掲載) 県出資団体等調査特別委員会では、第二次中間報告の取りまとめが行われ、また、百里飛行場利用調査特別委員会では、調査結果報告の骨子案の検討が行われました。(八・九面に掲載)

今回の定例会では、予算、条例、人事、請願など百十の議案が可決、同意、承認、採択されました。

## 出資特別委 第二次中間報告書を取りまとめる

第四次行財政改革大綱の策定方針は

### あらゆる手段を講じて 徹底した改革に取り組む

議員(自民) 新しい県総合計画は、日本をリードする本県の発展方向を示し、県民に夢と希望を与える計画となるべきと考えるが、計画の目標及び推進方針はどうか。

知事 「活力あるいばらき」、「住みよいいばらき」、「人が輝くいばらき」を実現す

るといふ三つの目標を掲げ、本県の可能性を最大限に引き出すことや県民が主役となってこれからの茨城を共に創っていくことを県づくりの基本姿勢として、目標実現のため、施策の重点化を図っていく。

議員 新計画に基づく事業を推進していくためには、

その基盤となる強固な行財政基盤の確保が不可欠と考えるが、第四次の行財政改革大綱の策定方針及び今後の改革の推進方針はどうか。

知事 私をはじめ職員一人ひとりが強い危機感をもって、あらゆる手段を講じて徹底した改革に取り組んでいくこととし、五年間で一般行政部門の職員数を10%削減するなど、財政の健全化を図るとともに、出資団体等の改革についても不退転の覚悟で取り組んでいく。

議員 T X開通に伴い筑波山への観光客が大幅に増えているが、一過性のものと

ならないよう、筑波山人気の定着に向けて取り組んでいくべきではないか。

知事 今後とも、直行シャトルバスの運行やパーク・アンド・バスライドを実施していく。また、周辺観光資源を活かした周遊バスの運行などを実施するとともに、なお一層の交通対策やつつじヶ丘や山頂のトイレの改修、倒木の処理などについて対策を講じていく。

議員 本県の医師不足は深刻な状況であり、特に産婦人科や小児科については、県内の公立病院でも医師確保が困難となっているが、今後どのように取り組んでいくのか。

知事 平成十七年度から確保対策事業を開始しているところであるが、今後、医師確保センター(仮称)の設置、県外の医学部へ進学

した者に対する奨学金の貸与制度の創設など、適切かつ効果的な対策を総合的に講じていく。

議員 県立高等学校再編整備により廃校となる学校は、いずれも各地域の多大な協力を得て用地の確保や学校運営を行ってきたものであり、今後の跡地の利用・処

分に当たっては、これらの経緯を十分に踏まえて進めるべきと考えるがどうか。

教育長 跡地利用計画の策定にあたっては、「普通財産の管理、処分等方針」の原則を踏まえながらも、地元市町村の意向も尊重して有効な活用、処分を検討していく。

議員 刑法犯認知件数は三年連続で減少しているものの、自動車盗は増加しており、特に建設重機や農機具の窃盗については、建設業や農業関係者から悲痛な叫びが寄せられているが、どう取り組んでいくのか。

警察本部長 関係機関・団体と連携した盗難防止対策に取り組みとともに、被害発生実態の分析に基づく警戒・警ら活動の強化や関係都道府県警察との連携強化などによる検挙率の向上に向けて、より一層強力に取り組んでいく。

(ほかに、市町村合併の推進、県立病院改革、少子化対策なども質問)

## 代表質問(要旨)

### ●質問者

飯野重男

(自由民主党)

川口三郎

(自民県政クラブ)

細田武司

(民主清新クラブ)



観光客でにぎわう筑波山の様子

に、被害発生実態の分析に基づく警戒・警ら活動の強化や関係都道府県警察との連携強化などによる検挙率の向上に向けて、より一層強力に取り組んでいく。